

Case Study: 複合機 (MFP) 事業管理と連動したSCM/S&OP

事業環境と問題点

これまでのSCMの取り組みにより、在庫削減等には成功していましたが、事業環境が変化する一方、オペレーションが環境変化に追従できず、事業予算と実績が乖離し先行きを見通せなくなっていました。

MFP既存ビジネスの成熟化・成長鈍化

生産フレキシビリティの低下

ソリューションビジネスへのシフト加速

予算と実績の乖離
先行き不透明

事業予算とのギャップ対応を強化した
SCM改革

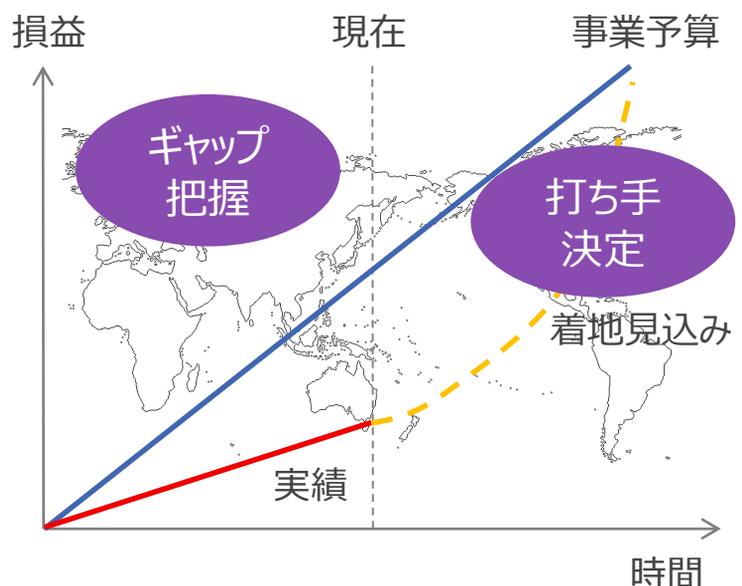
改革の概要

狙い

- グループ連結で数量、売上/利益の可視化
- 事業予算/実績・見通し、ギャップ把握
- 予算達成に向けた早期販売施策検討と、供給体制の決定

主要施策

- 長期PSI計画の予算化
- PSI計画の予算対比 (数量⇒金額変換)

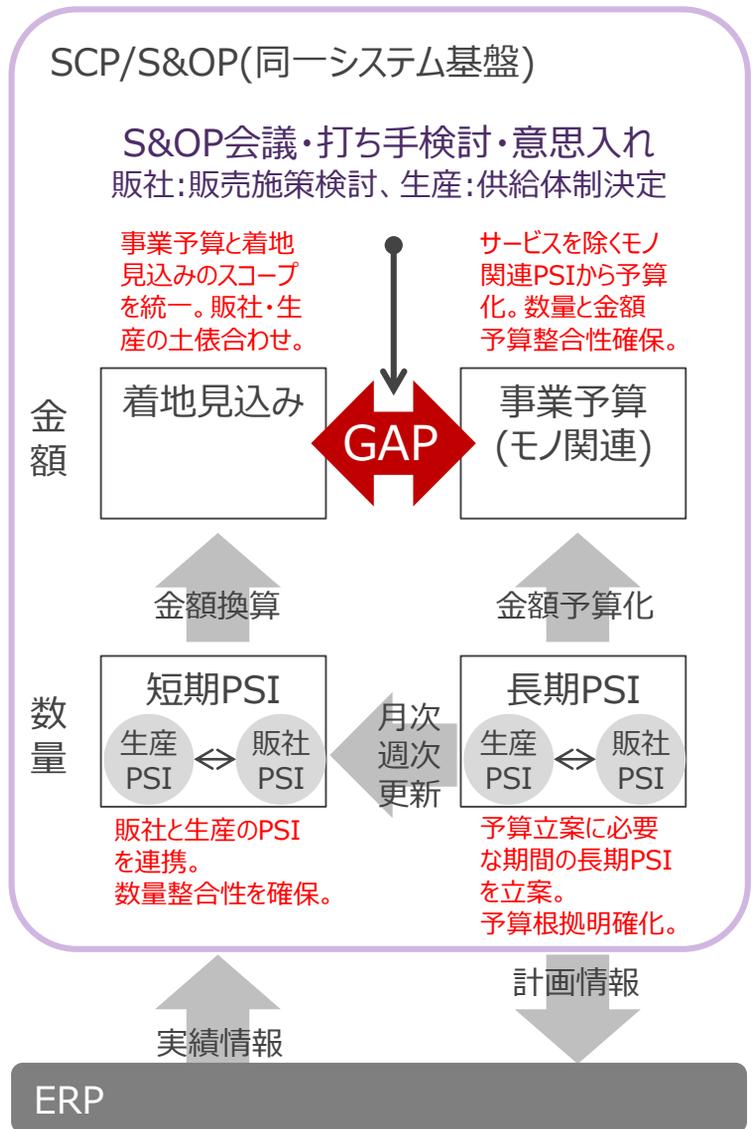


* PSI : Production/Purchase (生産/仕入), Sales(販売), Inventory(在庫)

事業予算と着地見込みとのギャップ把握

SCPとS&OPを同一システム基盤とし、数量計画と金額計画の一貫性を保ちながら事業予算と着地見込みとを対比（数量、モノに紐づく金額）する仕組みを実現しています。

グループ連結で数量と金額の整合がとれた予算立案を徹底し、金額予算の立案根拠を明確にしています。モノに紐づく金額を明確に分け、生産と販売が同じスコープで議論し、販売施策検討、供給体制を決定できるようにしています。



* SCP : Supply Chain Planning

Why QUNIE ?

SCM/S&OPの方法論だけではなく、豊富な実現経験や経験に基づく現場感覚が評価されました。

株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
 TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
 Email: info@qunie.com http://www.qunie.com

Trusted Global Innovator
 NTT DATA Group

NTT DATA